



「安心政令市にいがた」を目指して

「にいがた未来ビジョン」（新潟市総合計画）に掲げる3つの都市像

市民と地域が学び高め合う、
安心協働都市
「地域力・市民力」

田園と都市が織りなす、
環境健康都市
「大地・田園の力」

日本海拠点の活力を世界とつなぐ、
創造交流都市
「日本海拠点の活力」



男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまち

■ 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

◆ 新潟市版ネウボラの推進

- ▷ 「マタニティナビゲーター」を全区配置し、
妊娠・子育てほっとステーションの機能強化
- ▷ 産後ケアの利用環境の向上
出産後、不安を持つ産婦へ所得に応じた支援を実施
- ▷ 地域の茶の間へ保健師等を派遣



◆ 安心して子どもを預けられる環境づくり

- ▷ ニーズに即した保育環境の整備
- ▷ 放課後児童クラブの受け入れ環境の充実



◆ (仮称)子どもの貧困対策推進計画の策定



学・社・民の融合による教育を推進するまち

■ 「新潟らしい教育」を充実

◆ 子どもたちの地域への愛着と誇りを育む

▷ 新潟発わくわく教育ファームの一層の推進

▷ 大好きにいがた体験事業

「新潟の良さを伝え、愛着を育む教育推進校」を指定
小・中学校から中等教育学校、市立高等学校へ拡充



◆ 県からの権限移譲を活かした 教育環境の充実

(少人数学級を小学校3・4年生へ拡充)

◆ (仮称)食料農業大学創設への支援





ずっと安心して暮らせるまち

■ 「地域包括ケアシステムの構築」に向けて

- ◆ 介護保険制度改正による**新総合事業**のスタート
- ◆ **地域包括ケア推進モデルハウス**の全区展開、
地域の茶の間の設置促進
- ◆ 認知症対策の推進
- ◆ 在宅医療・介護連携ステーションの増設(8か所→11か所)

「地域力・市民力」を活かした支え合いの仕組みづくり



**健康寿命の
延伸が大切**



人と環境にやさしい にぎわうまち

■ 健康寿命の延伸に向けて

◆ 健康寿命延伸計画の推進

▷ データに基づく、**地域特性に応じた取組み**を各区で実施

◆ 健幸になれるまちづくりの推進

▷ **にいがたちよいしおプロジェクト**の推進
市内農産物を活用した減塩メニューや、
「うす味でおいしい病院食」の提供など、**減塩運動の推進**

◆ 健幸マイレージ、未来ポイントの実施

◆ 特定健診・がん検診の充実

▷ **ミニドック型集団健診**を拡大実施

健康寿命の 延伸元年



地域の協力を得て健康度を高め合い、健康寿命を延伸



雇用が生まれ活力があふれる拠点

■ 内発型産業の育成・創業への支援

◆ 中小企業の設備投資を支援

- ▷ 設備投資意欲の高い企業を後押し
⇒ 生産性向上による競争力強化



◆ 企業立地の促進

- ▷ 新たな工業系用地等の基礎調査を実施
⇒ 企業の進出意欲や拡張ニーズに対応



◆ 創業・起業の支援

- ▷ 創業者に対し、店舗やオフィスの賃借料を支援
 - 店舗賃借料の支援充実
(場所: 商店街内 → 市内全域に)





ニューフードバレー構想の推進

◎ **規制改革は着実に進行中!**

■ 新潟市革新的農業実践特区

農業生産法人の役員要件緩和

9社が農業参入! 全国4千以上の店舗でおにぎり販売、耕作放棄地の解消、市内産米を使用した日本酒の製造・販売、G-GAP取得



日本農業の
改革拠点へ

農家レストランの設置要件緩和

全国初となる農家レストランが**3店舗オープン!**
年間8万7千人が来店、新規雇用22名を創出!



健康づくり応援食品認定制度の創設

機能性に関する科学的な報告がある成分を含む食品や、健康づくりに配慮された食品を新潟市が独自に認定!



様々なアグリプロジェクトの展開

全国の大企業や農業ベンチャーと連携し、ICTを活用した革新的農業を実践!





魅力を活かした交流拠点

■ 「食文化創造都市」の姿を明確化

◆ ガストロミーツーリズムの構築

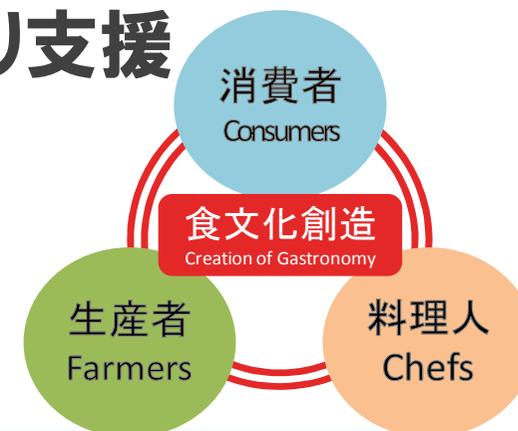
▷ レストランバスの活用など、
食文化の魅力を広く発信



◆ 生産者・料理人・消費者の関係づくり支援

▷ 体験型の料理教室「シェフの日」を開催

◆ 若手料理人の育成支援



食と農と文化を融合させ、交流人口を拡大



魅力を活かした交流拠点

■ 多様な来訪者の獲得

◆ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて

▷ アーツカウンシル新潟の体制強化

⇒ 文化プログラムを本市が先導

- 障がい者アート支援，アール・ブリュット展開
- 新潟インターナショナル
ダンスフェスティバル2017 etc

◆ 外国人の誘客促進

▷ クルーズ客船の誘致推進

◆ 「2019年新潟開港150周年」に向けて

▷ みなとまち新潟の姿を明確化

⇒ 官民一体で取り組みを推進



3. 財政狀況